

県立高校の在り方に関する 地区別情報交換会

令和7年11月7日

群馬県教育委員会

1. 社会の変化

- ・ 複雑かつ予測困難な課題を抱えた現代

➤ 高校教育の果たす役割は大きい

3. 生徒数の減少

- ・ 継続的な中学校卒業者の減少

➤ 学校の活力維持や特色化が必要

2. 生徒の多様化

- ・ 生徒の学習ニーズ、興味・関心、進路希望等の多様化

➤ 多様な生徒受入の体制づくりが必要

4. 教育のデジタル化

- ・ 社会や生活様式が大きく変容し、デジタル化が加速

➤ デジタルを活用した、個別最適な学びを推進

高校教育改革（県立高校の在り方の検討）が必要

既存の取組

- ◆ スーパーサイエンスハイスクール
- ◆ 非認知能力育成
- ◆ DXハイスクール など

+

在り方検討



すべての子どもに
公平で質の高い教育

01 地区別情報交換会

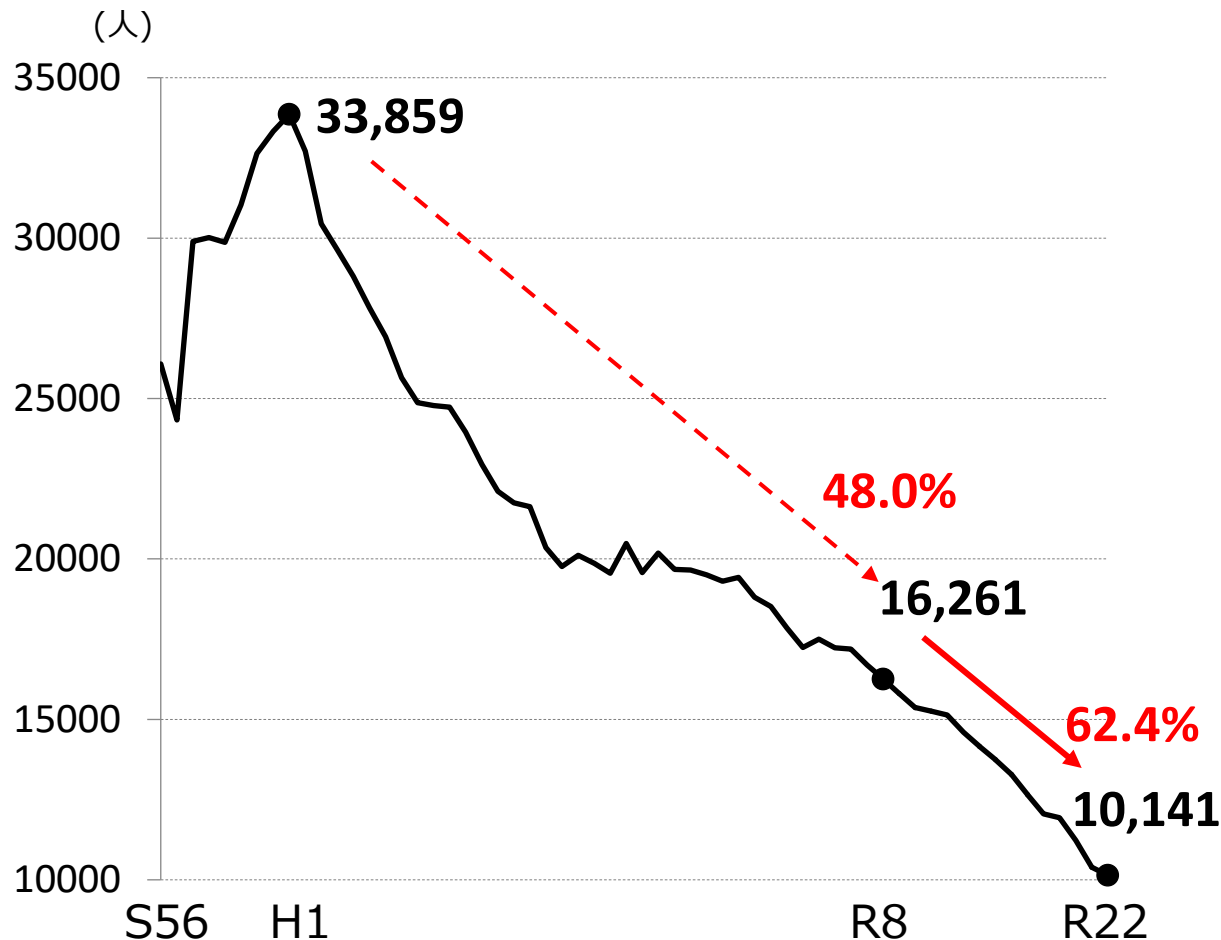
現状・課題等の情報共有



02 地区別検討会

地区ごとにゼロベースで
幅広く在り方を検討

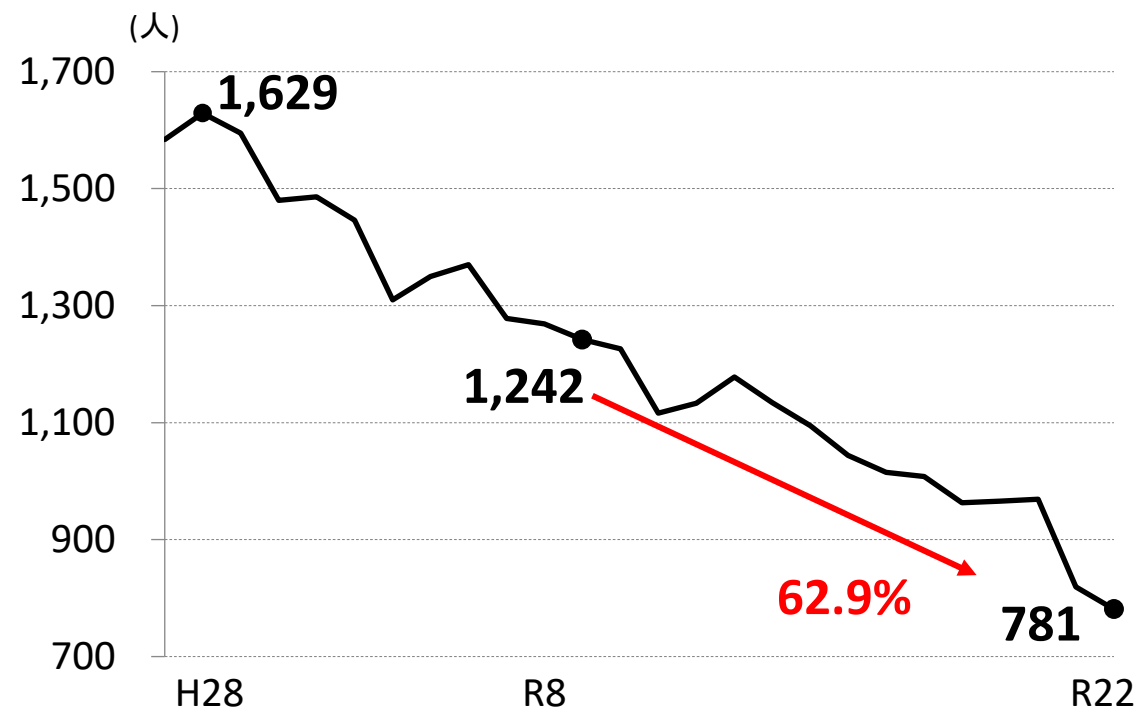
群馬県



・今後、数年間の見込み

R8→R9 : -455 , R9→R10 : -436 , R10→R11 : -114

渋川市・北群馬郡・吾妻郡



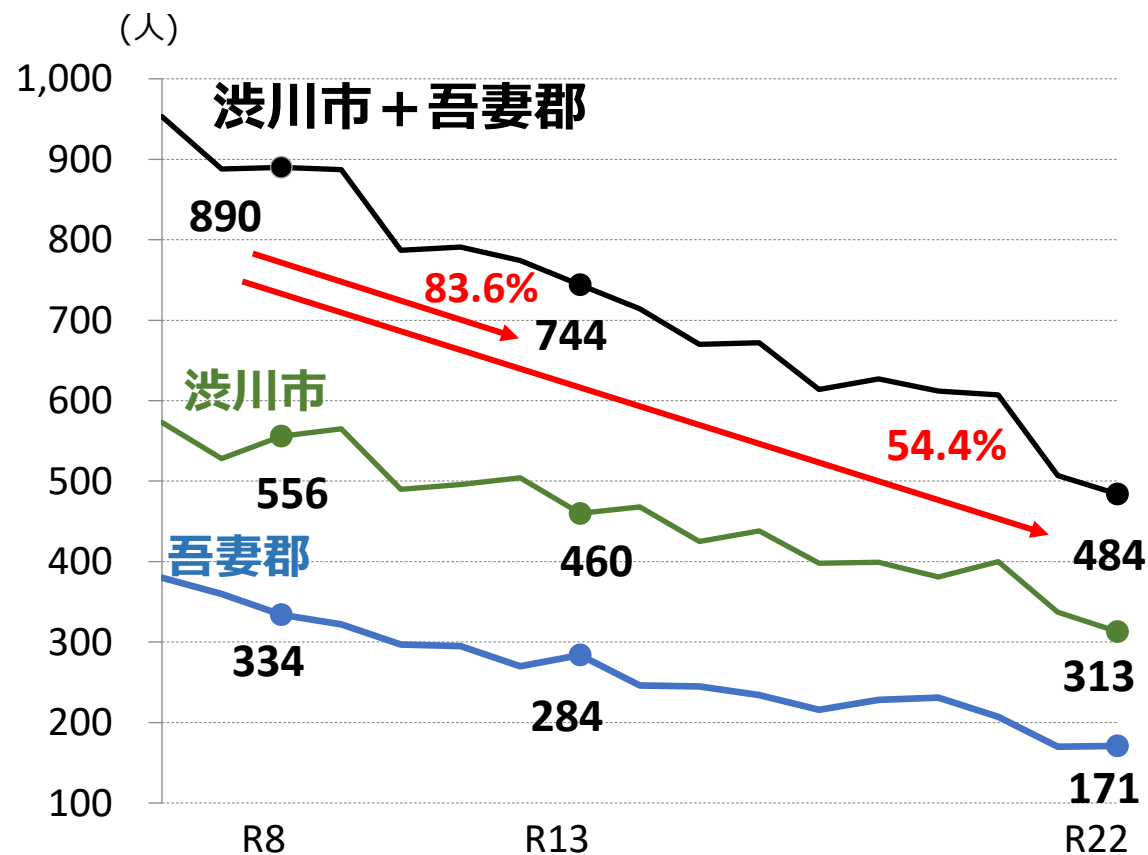
R8と比較して、R22(14年後)は、**461人減**の見込

現在の高校数を維持



各高校の小規模化が進行

渋川市・吾妻郡



【R8→R13】146人減 【R8→R22】406人減

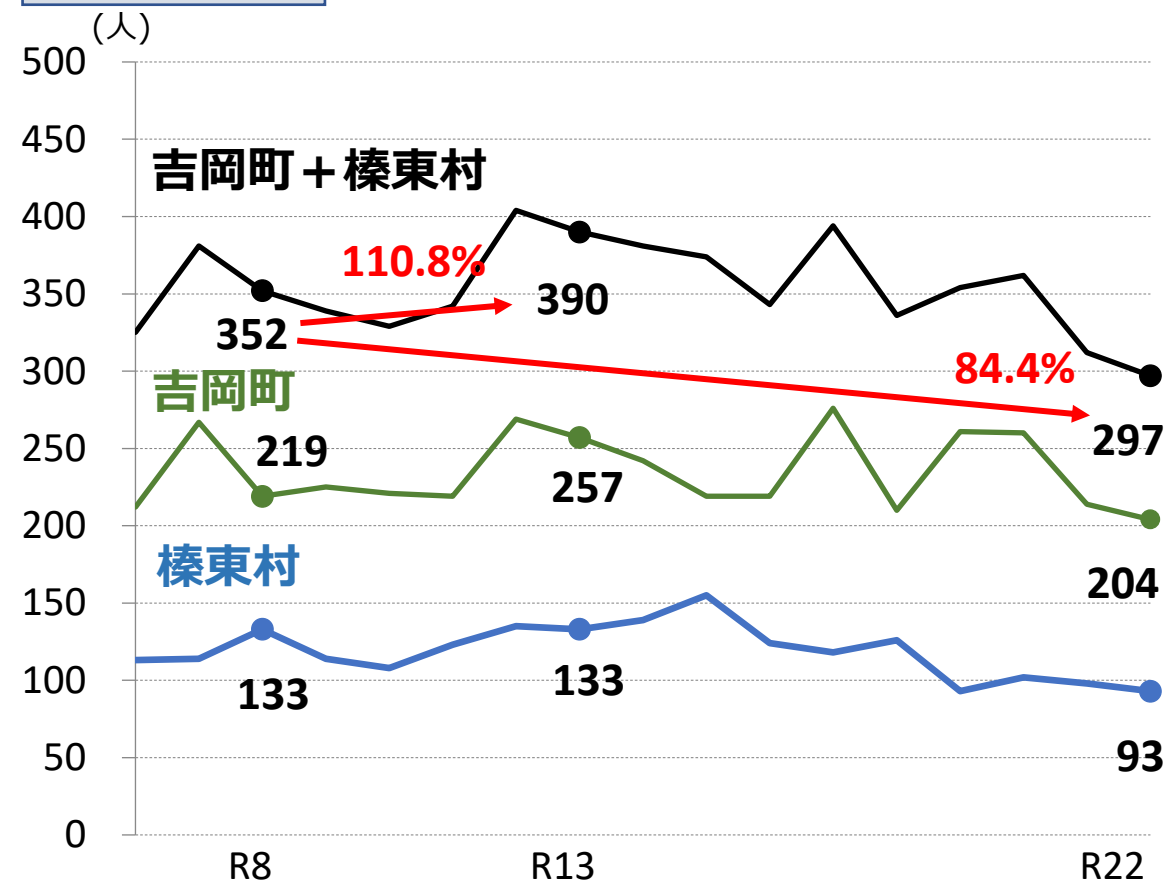
(渋川市)

・ R8比 : R13 (5年後) は82.7%、R22(14年後)は56.3%

(吾妻郡)

・ R8比 : R13 (5年後) は85.0%、R22(14年後)は51.2%

北群馬郡



【R8→R13】38人増 【R8→R22】55人減

(吉岡町)

・ R8比 : R13 (5年後) は117.4%、R22(14年後)は93.2%

(榛東村)

・ R8比 : R13 (5年後) は100.0%、R22(14年後)は69.9%

地区内の公立高校のプロフィール

(R7学校要覧等をもとに作成)

課程：全→全日制、定→定時制、通→通信制

学校名	課程	R7.3 卒業生 数	進路状況(R7.3卒業生)				特徴
			大学	短大	専門 学校等	就職	
渋川	全	187	162	1	8	6	1920年創立の 普通科男子校 。5 5 分授業。校訓：質実剛健、堅忍持久 「学び続ける力を備えた人材の育成」…生涯にわたって学び続け、主体的に社会的課題の解決に取り組むことのできる資質・能力を育成する
渋川女子	全	193	169	6	10	0	1920年創立の 普通科女子校 。SAH指定校。 校訓「道理と真理へのたしかなあゆみ」「勤労と趣味へのたしかないとなみ」のもと「実りある豊かな学習」「規律ある明るい生活」「健康で伸びやかな心身」を教育目標とし、知・徳・体のバランスを重視した教育活動を展開
渋川青翠	全	140	21	4	58	53	1998年に校名変更(1977年開校の渋川西高校から)した 総合学科高校 。 A:アカデミア、B:ビジネス、C:カルチャー、D:デザインの4 系列。 教育目標：心身ともに均衡のとれた、人間性豊かな、実行力のある社会人を育成する。
渋川工業	全	139	26	2	29	82	1958年創立の 工業高校 。機械科、自動車科（県内唯一）、電気科、情報システム科の4 学科を有する。 教育目標：個性の伸長を図るとともに、自ら考え判断し、産業社会で意欲的に活動する、誠実で思いやりのある人材を育成する。
〃	定	11	0	0	8	3	1963年設置。工業技術科、男女共学。

地区内の公立高校のプロフィール

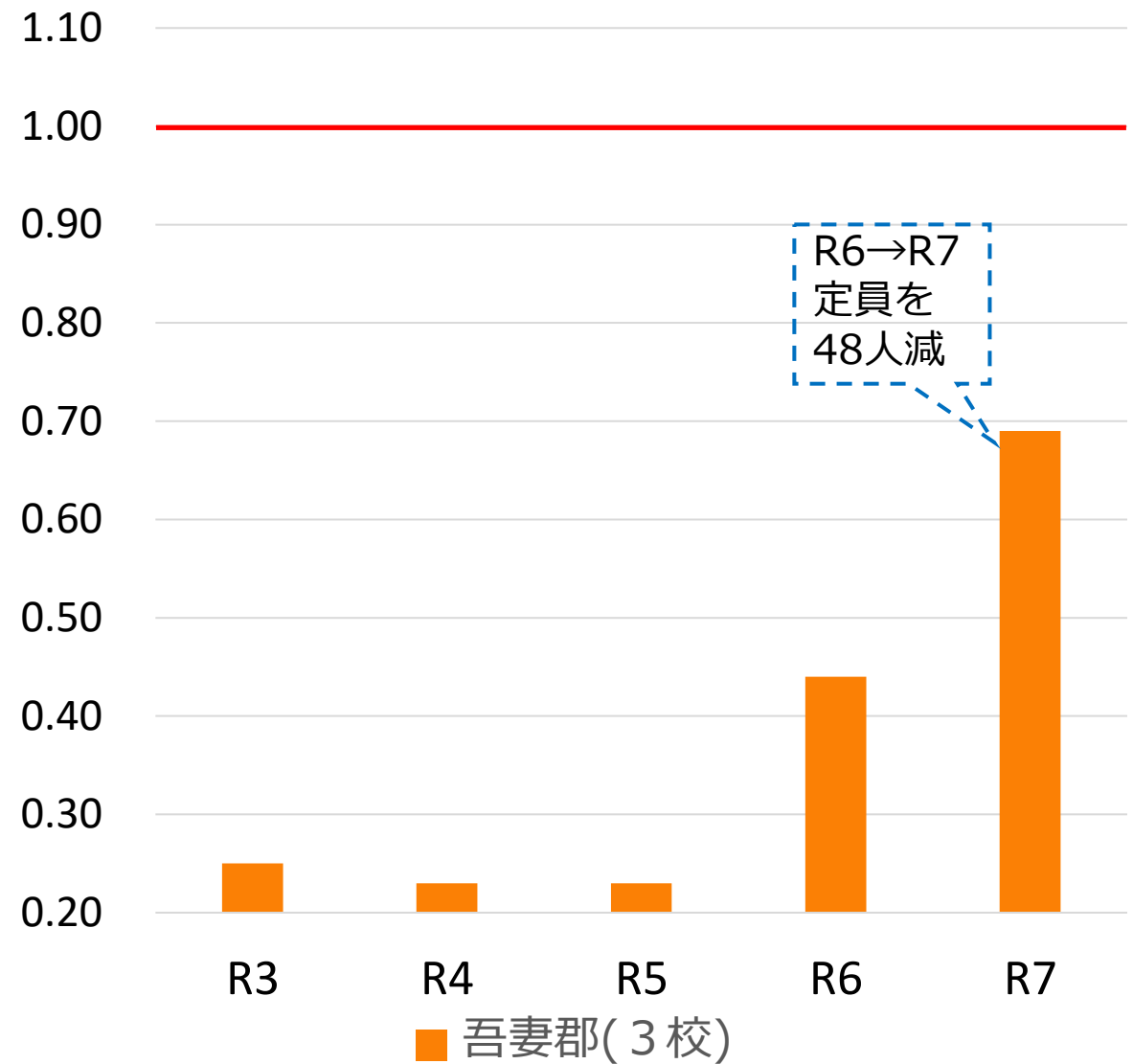
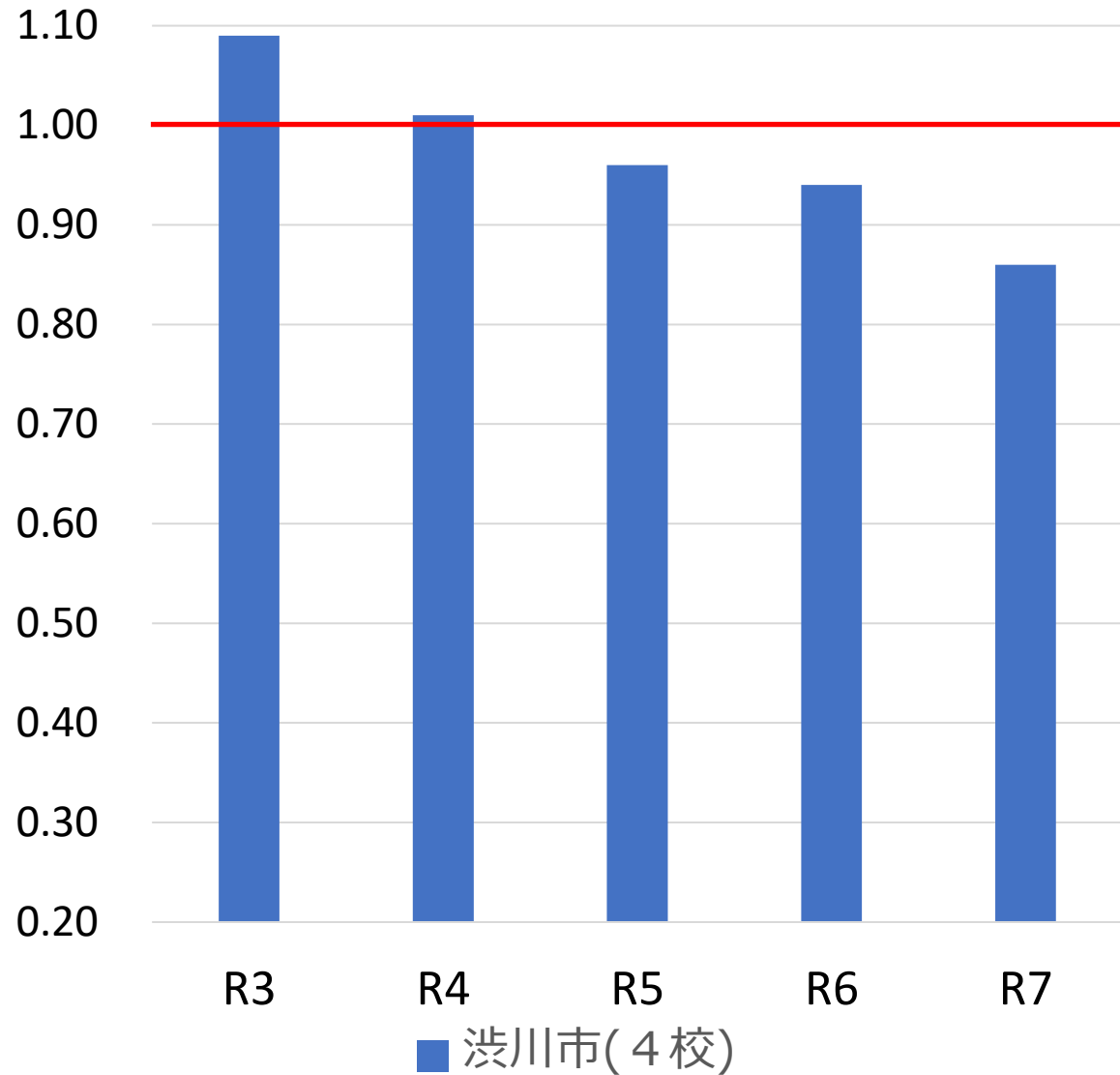
(R7学校要覧等をもとに作成)

課程：全→全日制、定→定時制、通→通信制

学校名	課程	R7.3 卒業者 数	進路状況(R7.3卒業生)				特徴
			大学	短大	専門 学校等	就職	
吾妻中央	全	151	48	5	52	43	2018年開校の 普通科と3つの専門学科 （生物生産科 [植物科学コース・動物科学コース]、環境工学科、福祉科）を併置する学校。 グレートリソナンス（卒業までに身に付けられる力） ○吾妻とともに育む「夢実行力」 ○社会の一員としての自信と、しなやかでたくましい心 ○未来を見据えた確かな学力と、日本を支える3つの専門性
長野原	全	19	0	2	7	7	1952年創立の 普通科共学校 。 「ぐんまコミュニティ・ハイスクール」指定校として、地域と一体となった教育事業を推進。 教育目標「個を伸ばし、和を育む教育の推進」 “あっとほーむ長野原”を通して一人ひとりの持ち味や特技を伸ばし、互いに思いやり協調する心を育む。
孺恋	全	17	3	1	10	2	1952年創立の 普通科共学校 。連携型中高一貫教育推進校。 2025年度入学生から、未来創造コース、探究アスリートコースの2コース制に改編し、カリキュラムを大きく変更。 全国生徒募集（探究アスリートコースはスケート又はスキー実技選択者）を実施。

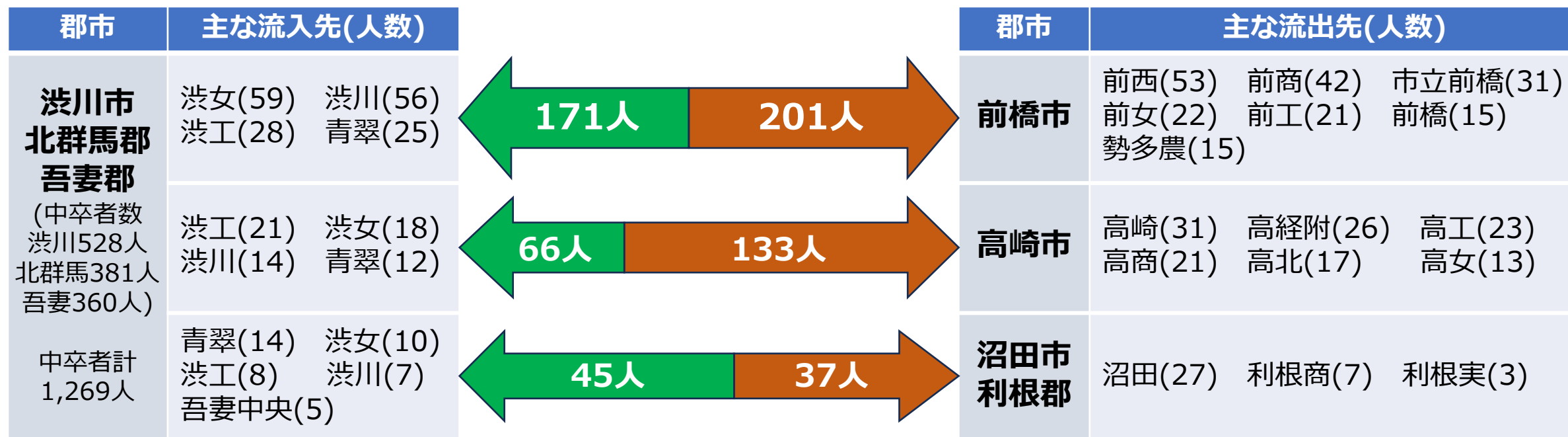
* 入試倍率…R3～R5は後期選抜

公立高校(全日制課程)の入試倍率*の推移

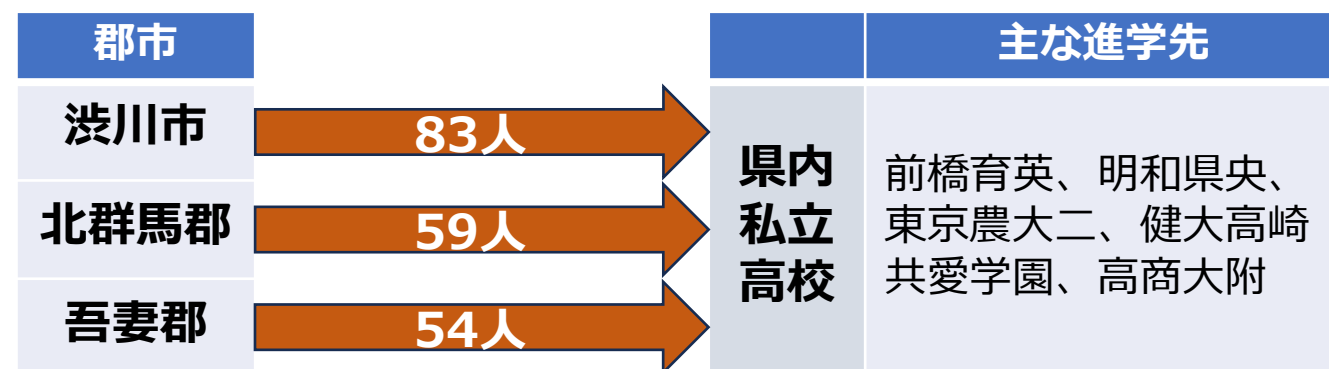


R 7 中学校卒業者の主な動き

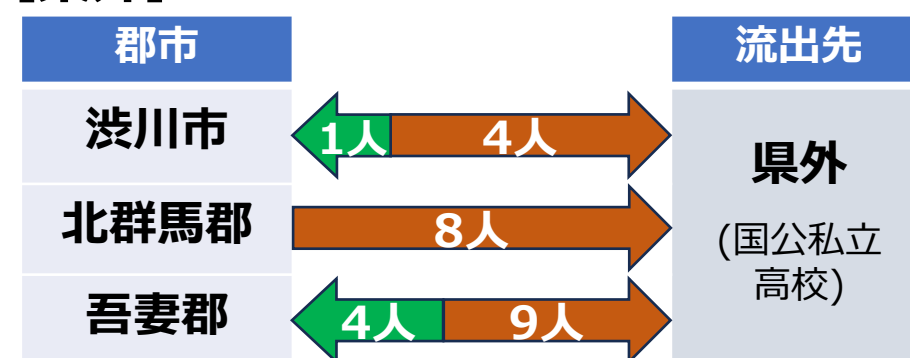
【県内他地区】



【県内私立高校】



【県外】



中学校卒業見込者数に伴うシミュレーションについて

中学校卒業見込者数

卒業年月	令和8年3月	令和13年3月	令和17年3月	令和22年3月
中学校卒業見込者数	1,242	1,134	1,008	781
増減(令和8年3月比)	—	-108	-234	-461

学級数及び学校数の見込み

高等学校名	学科等	令和8年	令和13年	令和22年
学校数		7校	7～4校	7～3校
渋川	普通科	4学級	23～19学級	20～13学級
渋川女子	普通科	5 "		
渋川青翠	総合学科	3 "		
渋川工業	工業系学科	4 "		
吾妻中央	普通科/農業系学科/福祉科	5 "		
長野原	普通科	2 " *		
嬬恋	普通科	2 " *		

* 1学級22人

中学校卒業見込者数にともなうシミュレーション

令和8年度
1 学年定員

全日制課程

7 校・25学級

渋川	普通科	4 学級
渋川女子	普通科	5 //
渋川青翠	総合学科	3 //
渋川工業	工業系学科	4 //
吾妻中央	普通科/農業系学科/ 福祉科	5 //
長野原	普通科	2 // *
嬬恋	普通科	2 // *

平均学級数
3.6学級/1校

学校数
を
維持

* 1 学級22人

令和22年度
シミュレーション

* 地区内の中学校
卒業見込者数の推移
R 8 比 [62.9%] を基に
算出

7校・15.7学級

渋川	2.5学級
渋川女子	3.1 //
渋川青翠	1.9 //
渋川工業	2.5 //
吾妻中央	3.1 //
長野原	1.3 //
嬬恋	1.3 //

・ 1 学年の
平均学級数
2.2学級/1校

・ ほとんどの学校が
3 学級以下に

※ [第2期高校改革推進計画] 2 県立高校の再編整備 (1)適正規模

イ 学習の専門性の確保に加え、多様な部活動の保障や学校行事等の活力維持から、1 学年当たり 4 ～ 8 学級を基本とします。

生徒同士が学び合い、切磋琢磨できる機会の減少、多様な学び・充実した教育活動の実施が困難

1. 学校の活力への影響

【学校行事・部活動など】

- クラス対抗行事や体育大会の種目数の縮減など、活動の幅が限定される。
- 文化祭等の準備・運営が困難になり、学校行事等が縮小される。
- 部活動数が少なく、生徒は希望する活動ができない。
- 部員数が少なく、運動部のチーム編成や、音楽系部活動のパート編成等が難しい。



生徒の学びの機会の減少

2. 学習活動への影響

【学習活動】

- コース別や習熟度別などの編成がしにくく、多様な学習形態を取りにくい。
- 専門の教員をそろえ、全ての科目を開講することが難しい。
(高校では、総合的な探究の時間以外に10教科15科目が必修科目)
→生徒の科目選択が制限される

＜学校規模別の配置教諭数の例（理科）＞

教科	科目	学校規模(1学年当たりの学級数)			
		2 学級	4 学級	6 学級	8 学級
理科	科学と人間生活	2 人	4 人	5 ～ 6 人	6 人
	物理基礎				
	物理				
	化学基礎				
	化学				
	生物基礎				
	生物				
	地学基礎				
	地学				
	理科課題研究				



生徒の進路選択に影響
(進学に必要な受験科目が選択できない等)

栃木県**➤ 未来共創型専門高校 （再編統合）**

- ・ 複数の職業系専門学科を併置 → 学科横断的学習を推進する総合選択制

＜特徴＞

- ＊ 異なる学科の生徒が連携・協働して探究的に学ぶ活動を推進
- ＊ 他の専門学科の科目や発展的な普通科系科目の選択が可能

岡山県**➤ 県立岡山御津高校（総合学科） （学科改編等）**

- ＊ 高校進学を目指しているが、様々な理由で登校できていない中学生のための「教育支援センター“My Place”」を開設（R6）
- ＊ 全日制高校への進学を目指している不登校傾向の中学生に対して、入学後、他校の通信制課程の科目を一部履修（全通併修）することができるフレックス制を導入（R7）

大分県

➤ 大分県立情報科学高校 （学科改編等）

- ・ 2023年度に新たな時代を担う人材育成を目指して学科改編
→ A I テクノロジー科、ビジネスソリューション科、デジタル創造科の3学科
＜特徴＞
＊ A I、I o T、半導体など高度先端分野を総合的に学ぶ（A I テクノロジー科）

兵庫県

➤ 兵庫県立北神戸総合高等学校 （再編統合）

- ・ 2025年、県立神戸北高校(普通科)と神戸甲北高校(総合学科)の発展的統合により開校
→ これからの時代に合わせた多彩な科目（系列）を設置した総合学科高校
＜系列＞宇宙・気象、D X、ひょうごからスタートアップ、スポーツ・アウトドアと防災、
ダイバーシティ&インクルージョン、リベラルアーツ の6系列

京都府

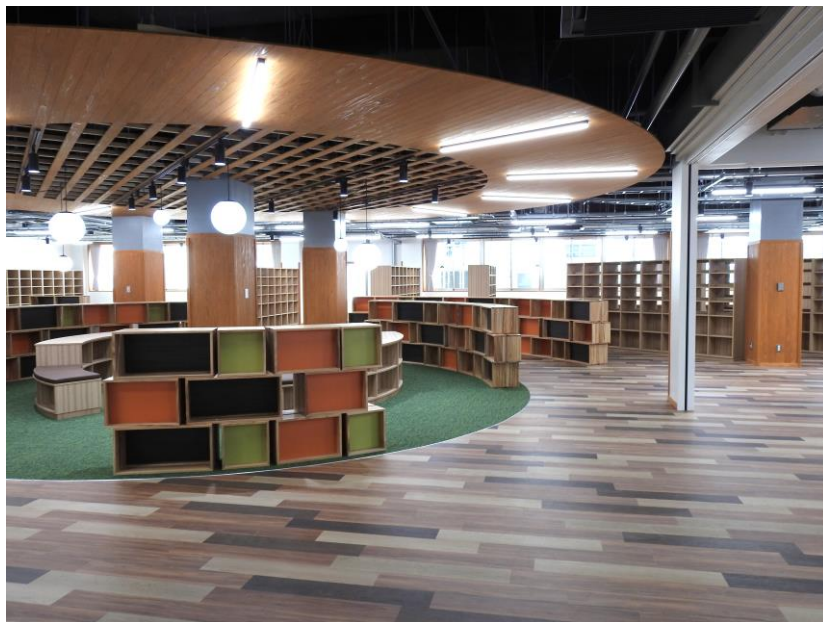
➤ 京都市立開建高等学校（学科改編等）

- ・ 2023年、京都市立塔南高校(普通科・教育みらい科設置)を再編して開校
→ルミノベーション科（その他普通教育を施す学科）を設置（1学科のみ）
- * 「自ら主体的に考え、探究し、多様な他所と協働することを楽しみ、未来を創造する人物」
の育成を目指し、対話・協働の学び、地域・社会での学び(探究活動)を展開。



➤ 沼田高等学校 （再編統合）

- ・ 沼田高校と沼田女子高校の統合により、
2025年4月に開校した普通科共学校
→進学重視型単位制、文理探究コースを設置
- * 幅広い選択科目・・・自分だけの時間割
- * メディアラーニングセンターをはじめとする最新の学習環境を整備



← メディアラーニングセンター

検討方法

- 座長は第三者（有識者等）で開催
- 開催の要望を頂くなど、**準備の整った地区から順次** 開催

検討内容

○地区の高校の未来像について

- ・生徒、地域の未来にとって、どのような高校が必要か
- ・各地区にふさわしい高校とは 等

ゼロベースで
地区関係者による
検討